

【埼玉県産の生のさつまいもが景品のクレーンゲーム】

取れた景品を店内で『焼き芋』にして食べられる仕組みが好評で

台の登場から1ヵ月で、約100kgの“出荷”!!

～クレーンゲームを通じて、埼玉県農産物の地域消費に大きく貢献!!～



↑埼玉県産のさつまいもが景品のクレーンゲーム



↑収穫してる気分を味わって頂ける様、軍手のアーム



↑店内で焼き芋にして食べられます

株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」は、景品で取った食品をその場で調理して店内で食べることの出来るクレーンゲーム『とれたてキャッチャー』の第2弾となる、埼玉県産の生のさつまいもが景品のクレーンゲーム『さつまいもキャッチャー』の稼働が、2018年11月12日で、登場から1ヵ月を迎えました。2018年10月12日～11月12日営業終了までの1ヵ月間で、総プレイ回数753回、景品獲得数326個の人気クレーンゲーム台となっております。

現在、台の中にある十数個のさつまいもをGETして頂くと、10月12日の台登場から累計で、※総量100キログラムの埼玉県産のさつまいもをGETして頂いたことになります。(※安納芋55キログラムと、紅はるか45キログラムの2品種合計。)

取った景品を店内で食べられる仕組み… とは?

多くのゲームセンターには、店内で食事が出来る設備などがなく、有っても、パンや菓子などの自動販売機が置いてあるなどが一般的で、当社でも、『長く遊びたいけれど、空腹になり施設外へ食事をとりに行く』という顧客の声を多く耳にしてきました。

そこで、当社では、電子レンジや紙皿、プラスチック製スプーンなどを用意し、店内に自由に使って頂ける調理コーナーを設置しました。これにより、取った景品を自ら温め、店内の休憩コーナーで食事をすることが出来るようになり、これがとれたてキャッチャー誕生のきっかけです。とれたてキャッチャー第1弾は、2018年9月から登場しており、カレー大戦とインドの料理学校のコラボで実現した、現在、入手困難なプレミアカレーで、日本で食べられる本格インドカレー『IICAチキンコルマカレー』が景品です。



↑店内に設置してある電子レンジと、焼き芋器一式

EVERYDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT

【ご連絡・お問い合わせはこちる】

会社名:株式会社東洋

広報担当者: 緑川裕一(みどりかわ ゆういち)

担当携帯: 080-6858-9626

担当メール: midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社): 埼玉県北本市中丸9-211

最寄駅: JR高崎線 北本駅

電話番号: 048-593-0999

FAX番号: 048-593-0997

HP: <https://ufo-everyday.com/>